

平成22年度事業計画

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

I 芸術文化事業

県民にすぐれた舞台芸術の鑑賞・活動機会を提供し、本県における芸術文化の振興を図る。

1 ファミリーコンサート「音楽のおくりもの」公演事業(新規) 1,603千円

親子で優れた音楽を楽しめる場を提供し、子どもたちが音楽に興味をもつ初めの一步とともに、子育て中のお母さん方を応援する。

2 松竹大歌舞伎公演事業 14,357千円

代表的古典芸能である歌舞伎を、低料金で手軽に鑑賞できる貴重な機会として、毎年継続実施しているものであり、愛好者の期待に応えるとともに、若い人々や新たな客層への普及拡大を図る。

3 コンテンポラリー・ダンスワークショップ事業 756千円

愛媛大学の牛山教授と松山大学ダンス部の大野監督をアドバイザーとし、両大学のダンス部員を講師として、東中南予において高校生を対象にワークショップを実施し、ダンスのレベルアップを図るとともに新しい作品を共同制作する。

4 コンテンポラリー・ダンス公演事業 996千円

県内の高校生のダンスのレベルアップや創作活動を支援するため、愛媛県県民文化会館においてワークショップで大学生と共同制作した作品を発表する。

5 歌舞伎鑑賞講座開催事業(拡充) 573千円

古典芸能に精通した葛西聖司氏(NHKアナウンサー)を招聘し、当該年度の松竹大歌舞伎の演目を題材に、事前に見所や鑑賞のポイントを解説してもらうことで観客の鑑賞力を高める。今年度は、新たに東予・南予の2会場を追加する。

6 えひめの優れた音楽家を紹介する音楽祭(新規) 810千円

県民に優れた音楽家を紹介するため、県内在住もしくは県出身の音楽家に演奏等の場を提供する。

II 芸術文化支援事業

県民の芸術文化活動を支援し、本県における芸術文化の振興を図る。

1 芸術文化共催事業【公募型】

愛媛県県民文化会館で実施する舞台芸術公演及びワークショップ等のうち、県民ニーズの高いものなどを当財団との共催事業として選定し、会場使用料を免除することにより、本県における芸術文化の発展に寄与する。

2 芸術文化共催事業【指定型】

愛媛県が文化施策として平成13年度～15年度にかけて取り組んできた県民によるオペラ上演による地域の芸術文化の育成事業を引き継いで発足した「オペラえひめ」を支援する。

また、愛媛オペラ2010実行委員会が、本県出身のオペラ指揮者である菊池彦展氏を招聘して実施する「ラ・ボエーム」(平成22年10月17日(日)開催)を支援する。

3 文化活動活性化支援事業 3,896千円

県内のアマチュア文化団体の自主的・創造的な文化活動に助成することにより、県民の文化活動の活性化を図る。(補助率:自己負担金の2分の1以内、限度額:25万円)

III 文化振興事業

県民の文化意識の高揚を図り、本県文化の向上発展に寄与するために、地域に根ざした魅力ある文化事業を推進する。

1 芝不器男俳句新人賞事業 3,491千円

愛媛県松野町出身の夭折の俳人、芝不器男に因み、新鮮な感覚を備え豊かな将来性を有する若い俳人に賞を贈る。(21～22年度の2か年事業)

22年度は、公開選考会及び授賞式を行うとともに、地元・愛媛での交流を深めるために、関連イベントとして吟行を開催する。

2 機関誌「文化愛媛」刊行事業 3,730千円

郷土に関する総合文化誌として、県民が興味を持って読める機関誌「文化愛媛」を2回刊行する。
印刷 各1,300部

3 文化講座開催事業(拡充) 679千円

団塊の世代の退職などにより、文化的な学習に対する意欲の高い熟年層が増大していることに鑑み、専門性の高い講座や地域の歴史・特性を生かした講座など、当財団ならではの文化講座を開催する。

- ・ 文学講座
- ・ 現代詩講座
- ・ 古典講座
- ・ 歌舞伎講座(新規)
- ・ 道後学講座(新規)

4 文化広報事業 280千円

財団ホームページの内容を拡充し、インターネットを利用して財団の文化事業などを発信する。また、美術館や生涯学習情報システムとリンクし、文化情報の充実を目指す。

5 えひめブックス刊行事業 688千円

郷土の文化や風土に根ざした文化史・生活史が展望できる叢書「えひめブックス」をこれまで26冊刊行してきた。今年度は新刊刊行をめざし、刊行委員会を開催するとともに 地元出版ブックフェアなどを通じて販売促進に努める。

IV 施設管理事業

県民文化の創造の場としての会館の基本理念に基づき、会館の有効活用と適切な管理運営を図る。

1 愛媛県県民文化会館及び別館の管理運営 264,766千円(人件費を除く)

県民文化会館の指定管理者として、会館施設の適正な維持管理に努めるとともに、会館の利用促進を図る。

2 利用者支援事業 906千円

別館の駐車場及びコピー機等のサービスを提供し、会館利用者の利便性を高める。

3 多目的室(仮称)の新設(広さ330㎡)《県事業》

県は、パスポートセンターの移転後、フローリング仕様に改装する。財団としては、音楽・演劇・舞踊・展示など多彩な催しに利用できる多目的室としての活用を促進する。

V ホールイベントプランナー設置事業(愛媛県委託事業) 18,026千円

愛媛県県民文化会館を利用した文化事業等を企画立案し、県内芸術団体や民間企業等に対し、当該事業等の提案又は実施支援を行うとともに、会館利用の働きかけや利用についての助言・指導等を行うホールイベントプランナーを設置することにより、会館への新たなニーズを創出し、より一層の利用促進を図る。